

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成24年度発生予察技術情報第9号（果樹カメムシ類）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成24年度技術情報第9号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）の誘殺数が出水地域を中心に8月下旬から増加し、多い状況が続いているため、今後も注意が必要である。

1 対象作物 カンキツ、ナシ、カキ等

2 情報の根拠

- （1）出水市に設置した予察灯では、9月第2半旬にチャバネアオカメムシが3,884頭（前年80頭、平年204頭）、ツヤアオカメムシが720頭（前年14頭、平年244頭）誘殺され、8月下旬以降多い状況が続いている（表1、表2、図1）。また、南さつま市加世田に設置した予察灯でも、誘殺数が平年より多い状況である（表1、表2）。
- （2）出水市の一部のカンキツ園では、カメムシ類の飛来が認められている。
- （3）ヒノキの球果における寄生虫数は、9月上旬で2種の成・幼虫の合計虫数が57.5頭/地点（うち、成虫53.9頭）で、8月下旬の24.1頭/地点（うち、成虫20.7頭）に比べて増加している。また、前年の同時期と比べても約4倍と多い（表3、図2）。
- （4）9月上旬のヒノキ球果口針鞘数（吸汁痕数）は、9.4本/果で8月下旬の3.6本/果に比べて急増している（表4）。また、調査地点によって口針鞘数のばらつきが大きく、今後離脱の目安である25本/果を早期に超える地点がでてくる可能性が高い。

3 防除上注意すべき事項

- （1）カメムシ類の飛来は地域間差、ほ場間差があるので、園内外をよく見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。収穫期を迎えている極早生温州やナシ園では特に注意する。
- （2）山林（ヒノキ、スギ）に近い果樹園ほど飛来数が多くなる傾向があり、特に、防風樹としてヒノキを植栽している園地では注意する。
- （3）飛来を認めた場合、一回目の防除は残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類の発生を助長するので散布後の発生に注意する。また、散布後の園内の飛来状況を見極め、二回目以降の防除を実施する。
- （4）薬剤のかかりの悪い場所へ集中的に飛来する可能性が高いため、薬液が樹全体にかかるように丁寧に散布する。
- （5）防除に当たっては、農薬の使用基準を厳守し、薬剤の飛散に十分注意する。

<参考資料>

表1 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺状況（8～9月）

半旬	垂水市 1)		南さつま市 2)		いちき串木野市 3)		薩摩川内市 4)		出水市 5)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
8月	1	0	33	80	41	8	48	0	33	23	26
	2	1	17	356	56	12	153	30	42	66	41
	3	1	16	80	56	34	100	17	81	181	155
	4	4	23	44	33	26	82	16	49	44	110
	5	3	30	18	27	48	44	28	31	56	32
	6	0	86	66	33	74	53	32	73	173	74
9月	1	3	127	76	45	26	75	9	91	96	161
	2	10	276	164	50	104	96	19	194	720	244

1) 農業開発総合センター果樹部（垂水市）， 2) 南さつま市加世田唐仁原， 3) いちき串木野市湊町
4) 農業開発総合センター果樹部北薩分場（薩摩川内市東郷町）， 5) 出水市美原町

表2 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況（8～9月）

半旬	垂水市 1)		南さつま市 2)		いちき串木野市 3)		薩摩川内市 4)		出水市 5)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
8月	1	0	126	17	27	5	61	0	67	14	18
	2	1	38	69	34	9	77	1	79	12	32
	3	4	31	50	36	19	185	2	137	69	82
	4	9	46	79	56	17	237	5	218	248	134
	5	48	71	110	49	39	139	49	214	1876	122
	6	40	116	322	42	52	187	390	209	6803	171
9月	1	19	54	439	49	82	122	401	170	2138	197
	2	55	84	367	25	83	443	342	368	3884	204

1) 農業開発総合センター果樹部（垂水市）， 2) 南さつま市加世田唐仁原， 3) いちき串木野市湊町
4) 農業開発総合センター果樹部北薩分場（薩摩川内市東郷町）， 5) 出水市美原町

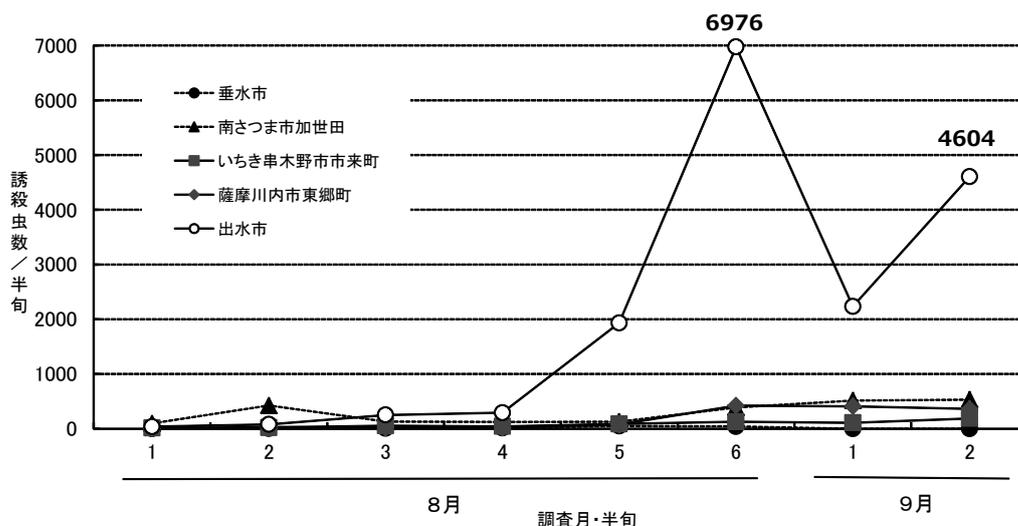


図1 予察灯におけるカメムシ類（2種合計）の誘殺状況（平成24年）

表3 ヒノキでのカメムシ類（2種，成・幼虫合計）寄生状況

調査場所	平成24年度				
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬	9月上旬
いちき串木野市1	7(7) ²⁾	9(9) ²⁾	22(12) ²⁾	19(11) ²⁾	42(40) ²⁾
いちき串木野市2	5(5)	23(19)	41(34)	34(32)	79(78)
薩摩川内市東郷町	1(0)	4(2)	0(0)	7(5)	32(28)
さつま町	3(3)	6(4)	13(11)	19(15)	117(101)
阿久根市	1(1)	6(3)	20(18)	16(13)	51(50)
出水市高尾野町	0(0)	2(1)	7(6)	15(11)	27(25)
出水市1	0(0)	2(1)	14(14)	40(36)	129(117)
出水市2	1(1)	5(3)	20(16)	12(9)	29(26)
出水市3	7(5)	3(2)	15(10)	33(32)	71(71)
霧島市溝辺町	2(2)	0(0)	4(4)	10(10)	35(35)
垂水市	1(1)	3(3)	20(18)	25(14)	13(12)
南さつま市加世田	3(3)	13(12)	17(16)	72(71)	75(71)
日置市吹上町	8(7)	15(12)	21(19)	11(10)	48(47)
平均	3.0(2.7)	7.0(5.5)	16.5(13.7)	24.1(20.7)	57.5(53.9)

注) 1. 調査日：平成24年6月29～7月6日（上旬），7月13～20日（下旬），8月2～6日（上旬），8月17～23日（下旬），9月3～6日（上旬）

調査方法：1地点当たり10ヶ所を捕虫網で5～7回ずつ振るい落とした。

2. 数字はツヤアオカメムシとチャバネアオカメムシの合計値で，（ ）内は成虫数。

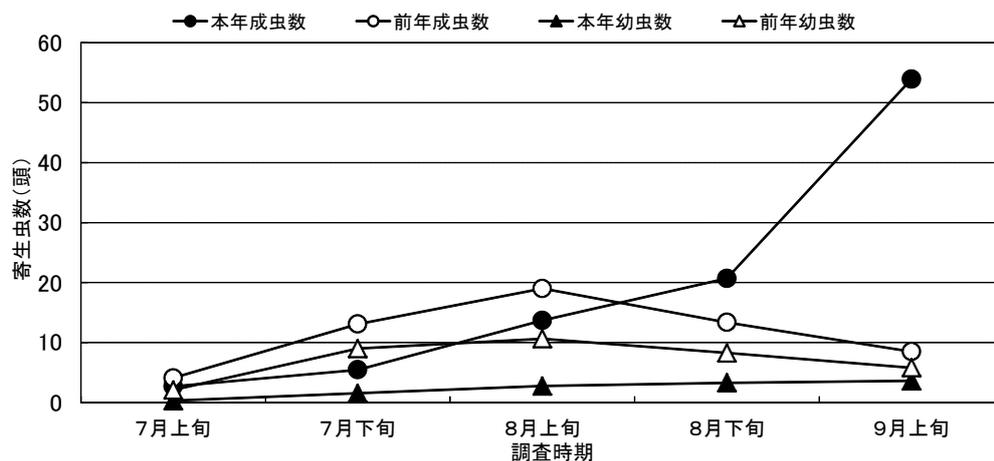


図2 ヒノキでのカメムシ類（2種合計）の寄生虫数

表4 ヒノキ球果1果当たりの口針鞘数の推移

調査場所	調査時期				
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月中旬	9月上旬
いちき串木野市1	0.0	0.1	0.7	3.4	10.6
いちき串木野市2	0.1	0.4	4.6	7.5	12.5
薩摩川内市東郷町	0.1	0.0	0.6	0.4	4.6
さつま町	0.0	0.1	0.9	2.6	8.5
阿久根市	0.0	0.0	0.4	1.3	10.3
出水市高尾野町	0.0	0.0	0.1	0.9	2.6
出水市1	0.0	0.0	2.1	0.8	6.8
出水市2	0.1	0.0	3.9	6.2	8.7
出水市3	0.1	0.0	3.0	6.6	13.2
霧島市溝辺町	0.1	0.0	0.1	1.8	13.8
垂水市	0.0	0.1	0.3	0.6	8.9
南さつま市加世田	0.0	0.0	0.5	7.4	15.6
日置市吹上町	0.0	0.3	1.4	7.1	6.2
平均	0.0	0.1	1.4	3.6	9.4

注) 1. 球果採集日：平成24年6月29～7月6日（上旬），7月13～20日（下旬），8月2～6日（上旬），8月17～23日（下旬），9月3～6日（上旬）

2. 口針鞘数（吸汁痕数）が約25本／果がヒノキ樹からの離脱の目安